

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	町の地域文化に学びを拓く
事業主体 (連絡先)	地域文化研究会 (NPO 法人みのわ芸術文化協会) 0265-79-8175
事業区分	教育・文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	431,444 円 (うち支援金 : 342,000 円)

事業内容

- (1)継承したい地域文化に関わる会員勉強会
4月・7月・10月・1月 年4回の例会実施
- (2)住民を対象にした出前講座
 - ① 地域住民対象 年4回
 - ② 小学校児童対象出前講座 町内3校
- (3)地域文化にかかわる取材活動 年14回
- (4)冊子発刊に向けての原稿編集 5本
- (5)令和4年度活動報告書作成



【 4月例会：山の神信仰 】

事業効果

- (1)公開講座のアンケート結果では、地域文化について学ぶよい機会になったや地域文化伝承の必要性について参加者から目標値を上回る高評価(89%)をもらうことができ、活動の目的や意義が改めて住民に周知された。
- (2)町内5小学校の内3校で、3年生社会科の授業や総合的な学習の時間で地域に学ぶ会を計画され、講師として地域文化の講話や実施調査などができた。学校の授業に地域人が講師になる機会をもらい、子どもたちの楽しかった、もっと知りたいなどの高評価(96%)に加え、講師としていった会員も子どもたちの思いを聞くことができ、大変勉強になった。

【目標・ねらい】

- ① 地域文化の掘り起こし
- ② 伝承文化の価値を伝える
- ③ 次世代を担う子どもたちに、地域にある暮らしの知恵や文化を学ぶ機会をつくる。

※自己評価【 A 】

【理由】

- (1) 地域の特色や児童の実態に合わせ、子どもたちにわかる資料や説明に務めた。
- (2) 地域文化のアーカイブ化をめざし、公開講座や取材などに力を入れた活動ができた。

今後の取り組み

- (1)地域文化を伝承してきた地域人の高齢化により、残したい地域文化はアーカイブ化が必要である。そのために①文章で残す ②写真や映像で残す ③音声で残すなどを一体化させた冊子の作成を令和5年度に実施したい。
- (2)引き続き出前講座を実施したり、例会を公開講座として地域に周知して、地域文化の伝承への理解と協力を得たり、取材にかかわる新たな情報を得たりしながら、「地域に残る文化を知る・知らせる」ことに力を注ぐような講座を継続したい。
- (3)子どもたちの学習活動の手伝いができるよう学校に働きかけ、継続的な学習展開を支援する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある